

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立都島スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		94.1%
達成率		117.6%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.7%	98.5%	1.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.9%	97.2%	1.7%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	81.4%	82.4%	-1.0%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	12,010,447	9,545,726	10,253,847	
	計画	1,756,600	10,530,936		
利用料金収入	実績	6,796,010	5,683,360	-1,788,990	コロナ理由のキャンセルと高校のクラブ活動としての定期利用者が学校施設を利用できなくなり利用がなくなったことが大きい
	計画	8,585,000	8,500,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	20,563,568	8,591,002	-3,354,532	コロナ感染拡大に因り、コロナ前の在籍から30%在籍減のため減収
	計画	23,918,100	23,468,900		
合計	実績	39,370,025	23,820,088	5,110,325	
	計画	34,259,700	42,499,836		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	18,011,963	16,970,836	3,101,763	社内ライセンス制度に則りライセンステストを実施し、時給の見直しと最低賃金金額改定により増額
	計画	14,910,200	14,733,700		
物件費	実績	16,235,841	20,185,318	2,041,941	通信運搬費・広告宣伝費・旅費交通費・リース代を抑えることができたが、水光熱費の高騰に因り増額
	計画	14,193,900	14,138,600		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	19,754,378	8,867,080	14,598,778	自主事業教室を多数実施しているため講師料と施設利用料が増加
	計画	5,155,600	5,104,600		
合計	実績	54,002,182	46,023,234	19,742,482	
	計画	34,259,700	33,976,900		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	117.6%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
①使用備品の一元管理による無駄のカット。 ②パソコン使用による、連絡・情報共有により、ペーパーレス化。 ③光熱水費の削減。 ④アイドルタイムの消灯の徹底と空調の温度調整を徹底。 ⑤電球・電灯の間引き。 ⑥室温基準の設定と管理。 ⑦不必要な個所の常時消灯。 ⑧日々の光熱水のメーター管理による異常値の早期発見。 ⑨人員配置の見直しによる人件費削減	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱を設置し、頂いた件・要望について回答を掲示。 ・アンケートを実施し、その結果を踏まえ、施設運営を改善。また、スタッフが直接話をお聞きし、ご指摘事項に対する改善に取り組む。 ・教室に使用する備品や一般利用で使用される備品については利用後に確認し、ヨガマット・ビン球・防球ネットなどを清掃・入れ替え・修理などを実施。 ・3時間毎にロッカー巡回を実施。また各居室の室温管理を快適にご利用いただけるように対応。 ・コロナ禍において感染予防の徹底。換気の徹底・区分終了毎に排気ファン作動・施設スタッフによるクリーンタイムの実施によりご利用者様のご利用になられた箇所の徹底消毒、またご利用者様にもご協力いただき、ご利用になられた道具・機材・マットなどの消毒を行っていただいた。また、営業終了後にオゾン発生器での居室内除菌の実施。

6 外部専門家意見

<p>前年度と比較すると、新規事業を開催する等、教室事業に力を入れた結果、収支に回復傾向が見られる点は評価したい。施設規模と現状の稼働率を踏まえれば、利用区分や利用スペースの有効活用など、一定の工夫を施さない限りは、利用料収入など、大きな改善を図ることは難しいのかもしれない。施設利用者の声に耳を傾けながら、利用者満足度を高い水準で維持していることは評価できるが、新規事業の展開など、引き続き、施設利用者の固定化を防ぐように努めるとともに、市民の日常生活が戻った現在、民間事業者のノウハウを発揮することができる自主事業収入の増収を次年度はさらに期待したい。その一方で、自主事業支出が計画よりも4倍増の計上がされていることは、理解しがたく、このような状況に至った詳細について、説明を求めたい。同時に、経営ノウハウを有する民間事業者として、一般的には、想像しがたいこの状況を重く受け止め、公の施設の経営を担うという責務と自覚を促したい。</p>
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設定目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立福島スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		100.0%
達成率		125.0%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.7%	96.6%	2.1%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績-計画）	主な要因
業務代行料	実績	24,630,397	21,539,313	2,164,797	
	計画	22,465,600	22,330,600		
利用料金収入	実績	2,458,730	1,583,590	-444,870	
	計画	2,903,600	2,874,900		
その他収入 （自主事業収入）	実績	7,664,750	4,451,766	3,271,350	事業収入（教室事業）が教室事業の増設、参加者の増加により増加。
	計画	4,393,400	4,313,400		
合計	実績	34,753,877	27,574,669	4,991,277	
	計画	29,762,600	29,518,900		

支出		当年度	前年度	差異（実績-計画）	主な要因
人件費	実績	13,740,181	11,210,738	1,034,381	時給見直しによる時給単価上昇および新規採用スタッフ育成、研修・イベント実施により増加しております。
	計画	12,705,800	12,546,600		
物件費	実績	10,016,483	7,826,606	-2,998,817	広告宣伝費・リース代を抑え、体育場内の照明がLED化のため電気料金は大幅にマイナスしております。
	計画	13,015,300	12,970,800		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	5,718,186	3,555,281	1,676,686	教室増設によりプラスとなっております。
	計画	4,041,500	4,001,500		
合計	実績	29,474,850	22,592,625	-287,750	
	計画	29,762,600	29,518,900		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	125.0%	S	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
①使用備品の一元管理による無駄のカット。 ②パソコン使用による、連絡・情報共有により、ペーパーレス化。 ③光熱水費の削減。 ④アイドルタイムの消灯の徹底と空調の温度調整を徹底。 ⑤電球・電灯の間引き。 ⑥室温基準の設定と管理。 ⑦不必要な個所の常時消灯。 ⑧日々の光熱水のメーター管理による異常値の早期発	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱を設置し、頂いた件・要望について回答を掲示。 ・アンケートを実施し、その結果を踏まえ、施設運営を改善。また、スタッフが直接話をお聞きし、ご指摘事項に対する改善に取り組む。 ・教室に使用する備品(ヨガマット・ビン球など)や施設貸しで使用する備品（パイプ椅子など）をクリーンタイム時に、スタッフ全員で除菌作業を行った。 ・各居室の室温管理を快適にご利用いただけるように対応。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、施設貸しでの利用区分の入れ替わり時にはスタッフによる誘導を行い、3密を回避するように取り組みを行った。 ・日々体育器具の点検・メンテナンスを実施し、自施設のスタッフで対応できる場合は早急に改善を、故障など買い替えが必要な場合は迅速な対応ができるよう努める。

6 外部専門家意見

<p>施設規模と現状の稼働率を踏まえれば、利用区分や利用スペースの有効活用など、一定の工夫を施さない限りは、利用料収入など、大きな改善を図ることは難しいのかもしれない。その一方で、自主事業収入が前年度、また今年度の計画よりも飛躍的に増収していることを踏まえれば、限られたスペースでも魅力的なプログラムを提供すれば、増員や増収が叶うことが今年度の実績で証明されたと思う。自主事業の収支構造についても、増収に対して、支出の増額は、一定、抑えられていると考えられ、計画時よりも事業効率が大きく改善されている点は、評価に値する。教室事業の増設により、収入と支出はどちらも増加しているため、今後も教室数増を検討するのであれば、計画の見直しが必要と思われる。また、LED照明の導入により電気料金が削減できた点についても、計画への反映が必要となる。施設利用者の満足度も高い水準を維持しており、このような実績を示すことは、経営ノウハウを有する民間事業者が公の施設の経営を委ねたことを意味づけるものと思われるので、市民の日常生活が戻った現在、さらなる事業成果を上げることが期待したい。</p>

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立平野スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		98.5%
達成率		123.1%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.4%	96.6%	1.8%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	91.4%	91.8%	-0.4%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

令和4年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	49,908,591	44,857,707	3,278,391	
	計画	46,630,200	46,343,900		
利用料金収入	実績	7,213,690	6,474,090	-1,177,210	前年度比較は臨時休館の影響もありプラスとなったが、計画に対しては新型コロナウイルスの影響は大きい。
	計画	8,390,900	8,310,800		
その他収入 (自主事業収入)	実績	9,258,365	7,744,240	-1,277,291	前年度比較は臨時休館の影響もありプラスとなった。コロナの影響もスポーツセンターは少しずつ回復してきました。営業補償精算金前年-1,486,193円、今年度3,199,191円を含む。
	計画	10,535,656	10,355,356		
合計	実績	66,380,646	59,076,037	823,890	
	計画	65,556,756	65,010,056		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	19,797,942	15,406,623	-2,358,758	作業の効率化とマルチジョブにより効率的な人員配置。
	計画	22,156,700	21,776,600		
物件費	実績	49,044,900	29,405,173	15,073,900	前年臨時休館の影響で今年度は前年プラス。また、水光熱費に関しては、ガス・電気の単価の高騰にて大きく増加。
	計画	33,971,000	33,892,600		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	5,992,128	4,617,332	-3,439,928	教室売り上げに紐づき、支出のマイナスとなります。
	計画	9,432,056	9,340,856		
合計	実績	74,834,970	49,429,128	9,275,214	
	計画	65,559,756	65,010,056		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	123.1%	S	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
①使用備品の一元管理による無駄のカット。 ②パソコン使用による、連絡・情報共有により、ペーパーレス化。 ③ボイラーの交互運転、細やかな室温コントロールによるガス代の節約。 ④館内の室温を基準値への設定と管理。 ⑤節水システムの導入による、水道使用節制。 ⑥電力受給契約を新電力会社へ変更し電気代の値下げ。 ⑦マルチジョブによりシフト効率化による人件費削減。 ⑧日々の光熱水のメーター管理による異常値の早期発見。 ⑨手動逆洗による廃水ロスの削減。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> 施設内へご意見箱を設置し、利用者からのご意見は施設内へ回答を掲示。 ご利用いただきやすい施設運営をおこなうため、ご利用者アンケートを実施し、ご利用者のニーズ、要望を聞き取り随時改善。 館内アメニティや施設不備についてご利用者や従業員から情報があれば、構成企業とタイムリーに連携し早期改善を図れる体制を整えている。 コロナ禍において感染予防の徹底。施設スタッフによるクリーンタイムの実施によりご利用者様のご利用になられた箇所の徹底消毒、またご利用者様にもご協力いただき、ご利用になられた道具・機材・マットなどの消毒を行っていただきご利用者様も安心してご利用いただける様に対応。また、営業終了後にオゾン発生器での居室内除菌の実施。
--

6 外部専門家意見

<p>第1体育場、第2体育場、またスタジオなどの施設条件や施設稼働率を踏まえれば、コロナ禍の影響を受けていたとはいえ、利用料収入と自主事業収入が計画を下回り、低調であったことについて十分な説明を求めたい。つまり、民間事業者のノウハウが十分に発揮されたとは言えず、新規プログラムが展開された形跡が見られないこと、それにともない増員・増収が果たせなかったことは、不適切な状態であると判断する。光熱費などの高騰を踏まえても、物件費が計画時の1.45倍も計上されている事態を民間事業者が担う指定管理者として、この事態を重く受け止めてもらいたい。施設利用者の満足度が高い水準であることを踏まえると、地域住民のニーズを捉えた事業展開やマーケティング努力を施し、次年度は少なくとも収支の黒字化を基準に施設経営にあたってもらいたい。</p>
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立平野屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.4%
達成率		109.3%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		91.9%
達成率		112.5%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	70,323	26,790	43,533
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	20,321	17,538	2,783
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	47,335,887	60,502,309	4,448,287	
	計画	42,887,600	42,955,500		
利用料金収入	実績	24,195,258	10,240,357	-12,128,342	
	計画	36,323,600	35,881,100		
その他収入 (自主事業収入)	実績	22,847,803	11,043,572	-19,251,397	
	計画	42,099,200	41,536,400		
合計	実績	94,378,948	81,786,238	-26,931,452	
	計画	121,310,400	120,373,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	33,855,523	26,505,177	-9,285,677	作業の効率化とマルチジョブにより効率的な人員配置。また、上記教室売上に紐づき教室集客減による人員減。
	計画	43,141,200	42,488,200		
物件費	実績	52,184,733	42,681,328	-11,665,467	
	計画	63,850,200	63,703,800		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	7,520,717	4,571,668	-6,798,283	
	計画	14,319,000	14,181,000		
合計	実績	93,560,973	73,758,173	-27,749,427	
	計画	121,310,400	120,373,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	109.3%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
①使用備品の一元管理による無駄のカット。 ②パソコン使用による、連絡・情報共有により、ペーパーレス化。 ③ボイラーの交互運転、細やかな室温コントロールによるガス代の節約。 ④館内の室温を基準値への設定と管理。 ⑤節水システムの導入による、水道使用節制。 ⑥電力受給契約を新電力会社へ変更し電気代の値下げ。 ⑦マルチジョブによりシフト効率化による人件費削減。 ⑧日々の光熱水のメーター管理による異常値の早期発見。 ⑨手動逆洗による廃水ロスの削減。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> 施設内へご意見箱を設置し、利用者からのご意見は施設内へ回答を掲示。 ご利用いただきやすい施設運営をおこなうため、ご利用者アンケートを実施し、ご利用者のニーズ、要望を聞き取り随時改善。 館内アメニティや施設不備についてご利用者や従業員から情報があれば、構成企業とタイムリーに連携し早期改善を図れる体制を整えている。 コロナ禍において感染予防の徹底。施設スタッフによるクリーンタイムの実施によりご利用者様のご利用になられた箇所の徹底消毒、またご利用者様にもご協力いただき、ご利用になられた道具・機材・マットなどの消毒を行っていただきご利用者様も安心してご利用いただける様に対応。また、営業終了後にオゾン発生器での居室内除菌の実施。
--

6 外部専門家意見

<p>コロナ禍の影響を一定、受けているとはいえ、前年度の実績と比較して、屋内プール、トレーニング室の増員と増収が図られている点は、評価したい。しかしながら、屋内プールやトレーニング室のニーズは高いと思われ、利用料収入が計画を下回っていること、とりわけ、自主事業収入が計画を大幅に下回っている事態を重く受け止め、公の施設の経営を民間事業者に委ねていることの意味を示してもらいたい。ニーズが高い屋内プールで新規プログラムが展開された形跡はうかがえず、十分なマーケティング努力が施されたのか疑問を感じる。加えて、収支構造上、一定、黒字化は図られているが、施設のポテンシャルを踏まれば、利用料収入や自主事業収入の増収を図れば、収支構造は十分に改善可能であると思われる。市民の日常生活が戻った現在、増員・増収と収支構造の飛躍的な改善を次年度は期待する。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	